

成果指標				
成果指標	活動団体の回収量			
指標設定の考え方	回収量が多ければ、資源リサイクル化率に反映される。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目 標	800000	700000	700000	0
実 績	527010	483920	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>団体回収量としては、減少傾向であるが、地域団体活動を促進するうえでは、重要な事業となっている。今後は、各団体の資源ごみ回収実体を把握したうえで、業者を含めた手数料の見直しを検討し、適正に事業を遂行していく。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>資源ごみの集団回収団体数は、ほとんど増減のない状態です。資源ごみの回収活動は、地域団体活動を促進するうえでは、重要な事業となっている。また、市民に対し生ごみの減量に寄与する電気式生ごみ処理機や生ごみ処理容器の購入に補助することにより、ごみの減量化が図られている。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	電気式生ごみ処理機や生ごみ処理容器の購入件数が少ないことから、補助制度を更に市民に広く周知し、購入件数の増に繋がるよう鋭意努力する。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。